

大村市ファミリー・サポート・センター 熱中症予防に関する活動指針

1 目的

気温が高い時期の援助活動において、子ども及び提供会員の健康と安全を確保し、熱中症を予防することを目的とします。

2 基本方針

援助活動は、子どもの安全を最優先とし、気温だけでなく、暑さ指数（WBGT）や熱中症警戒アラート等を参考に実施します。

ファミリー・サポート・センター事業は、一対一又は少人数での援助活動であるため、一律に活動を禁止するものではありません。しかし、子どもの安全を最優先とし、熱中症警戒アラートや暑さ指数（WBGT）、子どもの年齢・体調・活動内容等を総合的に判断し、必要に応じて活動内容や活動場所の変更を行います。

3 活動前の確認事項

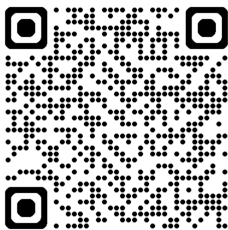
活動前には次の事項を確認してください。

- ・熱中症警戒アラートの発表状況
- ・暑さ指数（WBGT）
- ・気温
- ・活動場所（日陰の有無）
- ・水分補給ができる環境
- ・休憩場所の有無
- ・子どもの体調

【確認方法】

熱中症警戒アラート及び暑さ指数（WBGT）は、環境省「熱中症予防情報サイト」で確認してください。

ホームページ：<https://www.wbgt.env.go.jp>



4 活動の目安

気温（参考）	暑さ指数（WBGT）	目安	活動
24℃	25 未満	注意	通常通り活動可
31℃以上 35℃未満	25～28	警戒	こまめな休憩・水分補給を行い、激しい活動は避ける。
31℃以上 35℃未満	28～31	厳重警戒	屋外での長時間の活動は避ける。短時間・日陰中心の活動へ変更する。
35℃以上	31 以上	危険	原則として屋外活動は行わず、屋内での活動へ変更する。

※環境省「暑さ指数（WBGT）」を参考とします。

5 熱中症警戒アラート発表時の活動について

熱中症警戒アラートが発表された場合は、こどもの安全を最優先とし、次のとおりとします。

- ・屋外活動は 1 時間以内としてください。
- ・屋内施設での活動へ変更の検討をお願いします。なお、水遊びは可能ですが、自宅でプール等に水を張って行う活動については、安全確保のため、複数の会員による援助または保護者が在宅している場合に限ります。
- ・活動内容の変更が難しい場合は、依頼会員と相談のうえ、安全を最優先に判断します。

6 活動中の注意事項

活動中は、こどもの体調変化に十分注意し、次の点に留意してください。

- ・休憩や水分補給はこどものペースに任せるのではなく、大人から積極的に声をかけて促してください。
- ・夏場は、室内の活動であっても 30 分に 1 回を目安に、屋外活動や運動時は 15 分～20 分に 1 回を目安に、こまめな水分補給を行ってください。
- ・帽子を着用するなど、直射日光を避ける工夫をしてください。
- ・日陰や冷房の効いた場所で適宜休憩してください。
- ・こどもの顔色や汗の量、体調の変化をこまめに確認してください。

7 体調不良時の対応

活動中に次のような症状が見られた場合は、直ちに活動を中止してください。

- ・顔色が悪い
- ・元気がない
- ・大量の汗をかいている、又は汗が出ていない
- ・めまい
- ・吐き気

- ・頭痛
- ・呼びかけへの反応が鈍い

涼しい場所へ移動し、衣服をゆるめ、身体を冷やし、水分補給を行ってください。
症状が改善しない場合や意識がはっきりしない場合は、ためらわず119番通報を行い、依頼会員及びセンターへ速やかに連絡してください。

8 特に配慮が必要な子ども

次のような子どもについては、より慎重に活動内容を判断してください。

- ・乳幼児（特に未就学児）
- ・体調不良や発熱後の子ども
- ・持病がある子ども
- ・暑さに慣れていない子ども

年齢が低いほど熱中症のリスクが高くなるため、屋外活動時間の短縮や屋内活動への変更を積極的に検討してください。

9 センターへの連絡事項

援助活動の内容（場所・時間・活動内容）については、季節を問わず、事前にセンターへご連絡ください。

特に夏期（7月～8月）に屋外で活動を予定している場合は、事前に天気予報や暑さ指数（WBGT）等を確認したうえで、活動内容と併せてセンターへお知らせください。